

④ 科目名	法学入門
④ 科目名(英訳)	Introduction to Law
④ 科目ナンバー	BS136A01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	伊藤 雄太(非)
④ 単位数	2
④ 開講学年	1年
④ 開講セメスター	春期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:BS
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	【春学期】 伊藤 雄太(非):金7-8
④ カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	法学系科目を履修していく上で必要となる、基本的な日本法の体系と機能に関する知識を身につける科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:◎
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 思考力

④ 授業の主旨 (概要)	<p>一般的な社会人として身に付けておくべき法律の基本的スキルを身に付ける。そのために、社会におけるさまざまな事例を想定しながら講義をしていきたい。具体的には、教科書を用いて講義形式により授業を実施する。なお、今日の社会において起きている事象とできるだけ関連付けて実施することを予定しているため、内容は教科書に書いてあることにとどまらない。教科書を覚えるのではなく、社会において現に生じうる事象を念頭に、考えていく能力を高めていく。どちらかといえば、民法(全体的なこと、契約に関すること、家族・相続にかかわること等)・刑法・消費者法・労働法・知的財産法などを中心とする予定である。 最初はず、「法とは何か」という観点から始める。その上で、どのような法律があるか、法をどのように適用するかをみる。その後、各論をみていく予定である。</p>	
④ 具体的 達成目標	<p>社会において、法的に検証すべきさまざまな事象が生じている。それは新聞、テレビなどで報道されるものだけ見ても数限りない。しかしその中には、法的論拠を欠く一方的な見解や感情に左右された報道も散見される。 今日の社会において私たちとさまざまなかかわりを持つ事柄について、法的な視点から考えることができるための基礎を身につけることができる。ひいては、社会におけるさまざまな論点に対して多面的に考え、自身の意見形成ができる能力を身につけることができる。それらを通じて、法的分析・検討はもちろんのこと、物事を論理的に考え、分析する能力を身につけることができる。</p>	
	1	<p>【内容】 授業の概要の説明。 基礎的事項の説明。 (いずれも、この授業を受講する上で不可欠な内容である。)</p> <p>【授業外学習】 事前学習は要しない。 事後学習: 授業の中で指示した教科書の内容を読み、教科書の該当ページに記載の確認問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	2	<p>【内容】 三権分立～法律とは</p> <p>【授業外学習】 事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでくること。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	3	<p>【内容】 法体系～民事と刑事 公法と私法 法律の解釈</p> <p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでくること。よく理解できなかったところは、今回の授業に</p>

● 授業計画	【授業外学習】	<p>において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	
	【内容】	人権とは	
	4	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	<p>契約 有効な契約(詐欺、強迫、錯誤、通謀虚偽表示、心裡留保)</p>	
	5	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	<p>裁判制度 行為能力～制限行為能力者(未成年者、成年被後見人、被保佐人、被補助人)</p>	
	6	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	犯罪に関する法	
	7	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	財産権に関する法	
	8	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	財産権に関する法②	
	9	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>
	【内容】	家族に関する法	
10	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	
【内容】	相続に関する法		
11	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	
【内容】	<p>労働法 雇用契約</p>		
12	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	
【内容】	知的財産権に関する法(著作権を中心に)		
13	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	
【内容】	私たちと税法		
14	【授業外学習】	<p>事前学習: 前回の授業の中で指示した教科書の内容を読んでいただくこと。よく理解できなかったところは、今回の授業において特に念入りに学習してほしい。 事後学習: 授業の中で出題し解説した問題を自分自身の力で解答すること。よくできなかったところは、必ずわかるまで学習し、それでもわからなければトラネットで、又は次の授業時に質問してほしい。</p>	

	【内容】 総括																		
15	【授業外学習】 事前学習: 今までの授業内容を見返しておくこと。 事後学習: 今までの授業内容を見返して、試験に備えること。																		
④ 授業方法	講義形式で実施する。 また、授業では、10回程度「小テスト」を実施する。「小テスト」の問題は、授業の復習ではなく、次の授業で学習する問題を、まず学習前の能力で考えることに主眼をおく。従って、「小テスト」の出来不出来は成績に反映させない。なお、小テストの問題について、次週までに、予習的に考えてきてほしい。 原則として、授業開始後の入退室は認めない予定である。また、授業中私語の多い者は、退室を命じる場合がある。																		
④ 成績の評価方法	論述式の定期試験による。 問題に対処する能力をどれだけ得ることができたかに重点をおいた判定評価をする。																		
④ 成績の評価基準	期末テストの特典(70%)と平常点(30%)を総合して60点以上の得点を合格とする。																		
④ 教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社</th> <th>価格</th> <th>ISBN/ISSN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『法学入門[第2版]』</td> <td>田中淳子、大野正博他</td> <td>成文堂</td> <td>1980</td> <td>978-4-7923-0689-2</td> </tr> <tr> <td colspan="6">備考: 新しい版が発行されたときは新版を使用する</td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	1.	『法学入門[第2版]』	田中淳子、大野正博他	成文堂	1980	978-4-7923-0689-2	備考: 新しい版が発行されたときは新版を使用する					
No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN														
1.	『法学入門[第2版]』	田中淳子、大野正博他	成文堂	1980	978-4-7923-0689-2														
備考: 新しい版が発行されたときは新版を使用する																			
④ 参考文献																			
④ 備考	必要に応じてレジュメを配布する。																		
④ 関連ホームページ																			
④ メールアドレス	伊藤 雄太 syi3974@fsc.chubu.ac.jp																		
④ オフィスアワー																			